

文化政策部会における審議状況と今後の主な課題

1. これまでの審議状況

- 平成23年2月に閣議決定された「第3次基本方針」の重点戦略に基づく施策の着実な進行管理を図ることとして、これらの施策の実施状況の検証を行った。
また、文化政策の評価手法の確立に向けた取組（独立行政法人日本芸術文化振興会から報告）や、文化政策の評価手法に係る調査研究などについても審議した。今期は合計6回に亘る審議を行った。
- 今年度は、「第3次基本方針」の実行の2年目に当たる年度であるが、これまでの間、東日本大震災が発生するとともに、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」の成立等の動きがあった。こうしたことを踏まえ、上記の審議に加え、東日本大震災からの創造的復興の在り方に関して集中審議やヒアリングを行い、「最近の情勢と今後の文化政策」という提言をまとめた。

<主な提言内容>

(1) 被災地への支援に関する事項

- ・ 地域に根差した芸術団体等の育成
- ・ 現場のニーズと芸術家等とのマッチングを図るためのコーディネーター的役割を担う人材の育成と登用
- ・ 小中学校への芸術家等の派遣、被災地の自治体が企画する舞台芸術の鑑賞等への支援強化 等

(2) 日本全体における文化芸術の役割と振興策に関する事項

- ・ 文化財レスキュー事業等で構築された人的ネットワークの活用
- ・ 文化財を優先度に応じて救済するための平時からの体制整備
- ・ 大学等における専門人材の養成
- ・ 文化芸術の振興に係る諸課題への大学等の参画 等

2. 今後の課題

- 引き続き「第3次基本方針」の重点戦略に基づく施策や、「最近の情勢と今後の文化政策」で提言された施策の着実な進行管理を図る予定。
- また、文化芸術創造都市の推進や文化芸術の海外発信の在り方等、今後、採るべき施策の在り方についても、更に検討を進める。

